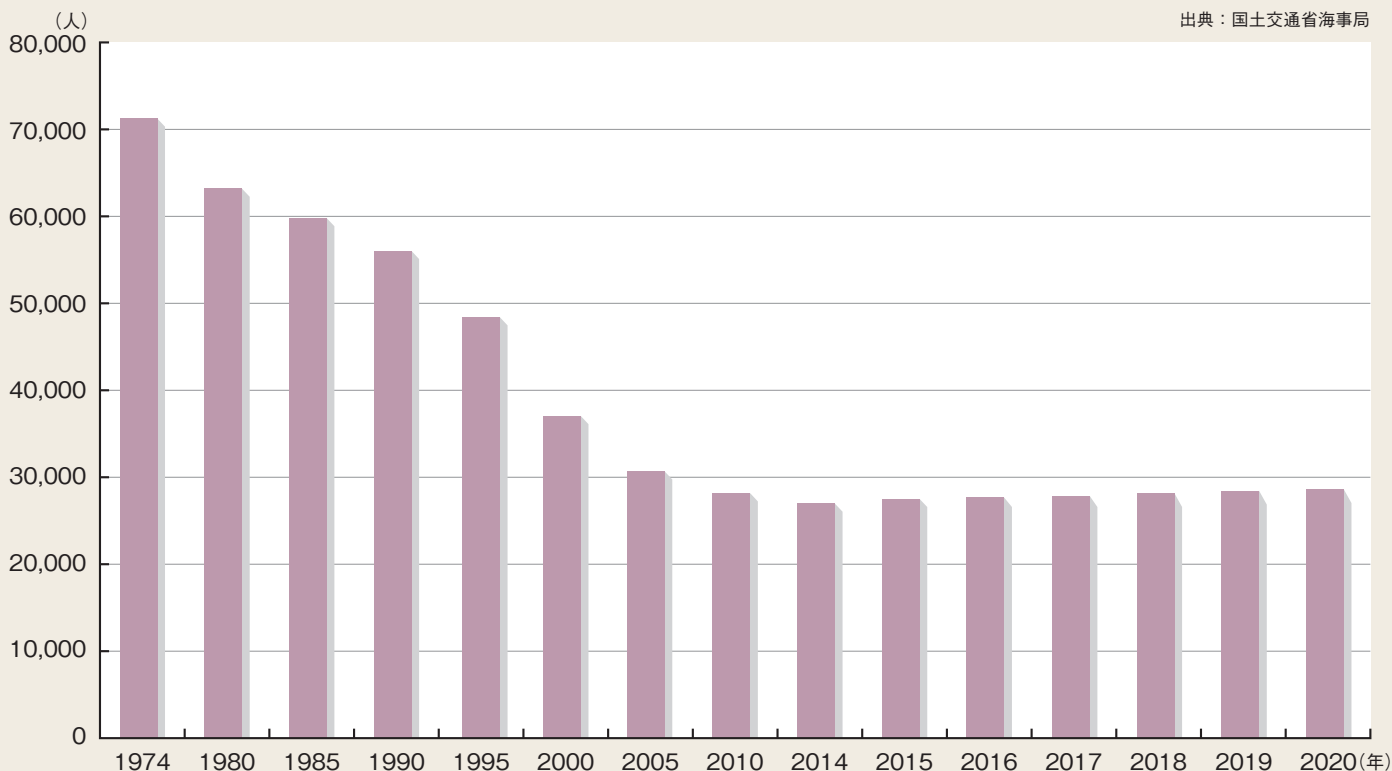


1 内航船員数の推移

内航船員数は貨物船と旅客船の船員を合わせて、28,595人である。

出典：国土交通省海事局



(単位：人)

年	1974	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
内航船員数	71,269	63,208	59,834	56,100	48,333	37,058	30,762	28,160	27,073	27,490	27,639	27,844	28,142	28,435	28,595

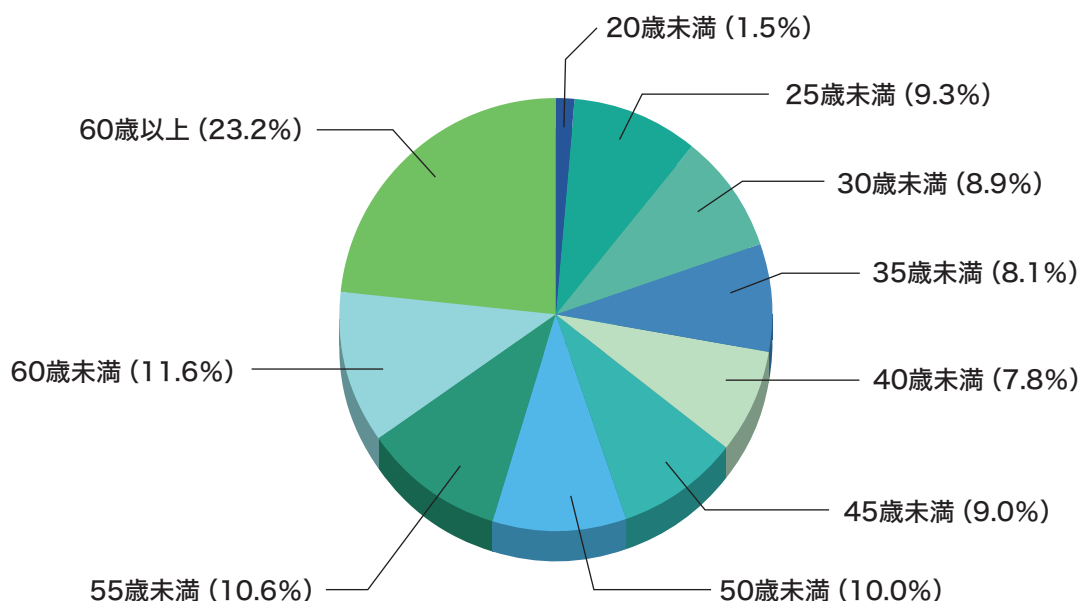
(注) ①海事局調べによる(2005年までは国土交通省「船員統計」による)。

②船員数は乗組員数と予備船員数を合計したものであり、わが国の船舶所有者に雇用されている船員である。

2 内航船員の年齢構成

50歳以上の割合が約45%であるが、30歳未満の若年船員の割合は微増傾向にある。

出典：国土交通省海事局



(注) ①2020年10月現在。

②端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

1 わが国海事クラスターの構成

海運業は、造船業及び船用工業とともにわが国海事クラスターの中心的存在。

作成：（公財）日本海事センター



2 わが国海事クラスターの規模

わが国海事クラスター全体の付加価値額は3兆7,149億円（GDPの約1%）、売上高は11兆2,737億円、従事者数は34万人。（いずれも2011年の数字）

作成：（公財）日本海事センター

	中核的海事産業	中核的海事産業以外	関連産業	隣接産業等	海事クラスター全体
付加価値額(億円)	26,106	7,963	2,199	882	37,149
売 上 高(億円)	86,219	15,935	8,902	1,680	112,737
従 事 者 数 (人)	220,264	82,643	17,483	19,832	340,223

3 わが国の海運業と造船業等の相関図

日本の海事クラスターは、海運業と造船・船用工業、海運業と荷主の強い結びつきが中心となっている。

出典：国土交通白書 2020

